

## 水産林業部会（R4.6.2）委員からの意見

## 1 木工品の普及や特用林産物の販売について

早坂 具美子 委員（具楽 代表） > P41

- ・ 資料について、フードコーディネーターとしての目と一般の主婦の目で見させていただいたところ、一般の主婦の目で見ても森林の概要を知ることができ、とても分りやすかった。
- ・ 一方、フードコーディネーターの目を見たとき、一つ残念だったことは、木工芸品の普及についての取組。
- ・ 今までは目で見て購入することがほとんどであったが、今はSNSで見て、そこからHPに飛んで買い物をするという時代であり、我々が撮影現場で使用するものも、大体そのようにして購入している。その際、宮城県産の木工芸品はあまり目にするのがないため、残念に思っている。
- ・ もう1点、特用林産物等の食品の販売について、本当にマーケットインになっているのかという点が心配である。

## 2 宮城県の強みについて

佐藤 太一 委員（(株)佐久 専務取締役）

- ・ 5月23日の産業振興審議会での意見の中にも「宮城県の林業の強みが分りづらい」という記載があったが、本当は宮城県の林業は強みがたくさんある。
- ・ 例えば、木材流通の面で見れば、石巻を中心とした合板工場の存在や、環境面で見ても台風が少なく成長量が良いなど。計画の前半にはいくらか記載はあるが、宮城県の林業はすごいという点を、もっとどこかで表現して欲しい（基本計画に関わらず）。

## 3 自伐型林業について

佐藤 太一 委員（(株)佐久 専務取締役） > P26, 39, 40

- ・ 批判しているわけではないが、自伐型林業を政策として推す意味はどこにあるのかを伺いたい。
- ・ 県として皆伐・再造林を目指し、経営計画を立てて施業を行っていく政策を進めている中で、自伐型林業はどのようなポジションなのか。
- ・ 自伐林家の定義が曖昧であり、読んだ人に誤解のないようにしていただきたいと思う。
- ・ 自伐型林業も経営計画を立て、労働災害に気をつけ、安定的な木材生産を行う、計画性を持ったものに誘導していかないと、一人親方といった、過去の繰り返しになってしまう。
- ・ 自伐型だから別の話し、ということがないようにお願いしたい。

## 4 SDGsについて

佐藤 太一 委員（(株)佐久 専務取締役） > 最終案（取組事例）

- ・ SDGsについて記載するのであれば、既に基本計画にも記載されているが、森林認証についても入れて欲しい。
- ・ SDGsの方でも、森林認証そのものが有効な手段であると明示されているため、SDGsを項目に追加するのであれば、森林認証についても記載し、宮城県でも既に実行していること

を反映してもらいたい。

水野 暢大 委員（水野水産（株）代表取締役） > P39, 43

- ・ SDGsについて、言葉では出てくるが、その表現方法が問題となる。
- ・ 基本計画を見た時に、SDGsの中に関係してくる内容がたくさんあり、それが人口減少や激甚化する災害、カーボンニュートラルなど、全ての要件を満たしてくると思う。
- ・ この林業がSDGsの全てを満たしているということ自体を、皆が知っていくことが、林業に従事する人を増やすことに繋がるのではないか。
- ・ 林業に従事するという考え方自体も、昔と今は違うのではないかと思う。そういうところを伝えていけるような内容になっているかという点が重要。
- ・ 計画案としては非常に緻密で計画的で理想的なのかもしれないが、こういったソフトの部分がもっと分かりやすいと、より良いのではないか。
- ・ 先日当社ではSDGs宣言をしたが、その後、高校生40人くらいが、ぜひ会社に来たいという声がかかった。
- ・ SDGsは実は今高校生が就職する時の第一条件になっているとのことであり、SDGsを目指しているような会社に就職したいというふうに言われ、これからの子供たちにとって、こういう方向で仕事を選んでいくということが大切なのだと知った。
- ・ 林業がSDGsの全ての部分に繋がっていくということを掘り下げていくことが、新しい林業の魅力を発することの糧になり、担い手の確保にも繋がるのではないか。

## 5 森林経営管理制度について

木村 明子 委員（宮城中央森林組合 総務課長） > P15, 35, 37

- ・ 中間見直しの中で、森林経営管理制度についての項目が追加されるということであるが、森林経営管理制度は市町村が主体となっている中で、県や市町村の役割、林業事業体の関わりといった様々な部分がうまく噛み合わさって、制度が回っていくものだと思う。
- ・ 市町村が制度を進めていく上で問題となっている課題についても、聞いていただいて、それを解消するためにはどういった取り組みが必要なかというところも検討いただければと思う。

## 6 みやぎ森林・林業未来創造機構について

木村 明子 委員（宮城中央森林組合 総務課長） > P39

- ・ 追記が予定されている「みやぎ森林・林業未来創造機構」について、これまで行政や民間事業者、教育機関、NPO等が関わって組織する団体はあまりなかったかと思う。
- ・ 機構の中では、新規就業者の確保・育成の他にも、林業全体・森林全体の今後の課題について考えていくこととしており、こうした機構の事業構想と基本計画がうまく連動する中で、労働力の問題だけではない部分で取り組みを進めていただければと期待している。

## 7 海岸防災林の復旧について

木村 明子 委員（宮城中央森林組合 総務課長） > P8, 27, 44, 45

- ・ 海岸防災林の復旧については、当組合の方でも関わっているが、植栽自体が完了し、「復旧完

了」という言葉も出ているが、植えて完了なのかという点は疑問がある。

- ・ 今後こういった形の海岸防災林を目指していくかというところは、協議会で取り組んでいくことだとは思いますが、完了ではなくて、これからも続いていくという部分を、計画の中にもうまく取り込んでもらえるといいと考える。
- ・ 中間見直しとは関係してこないかもしれないが、今回のように海岸防災林が大きな被害を受けて、植栽を行うという事例は他の県ではないことであり、今後の指針となるような植栽や保育の方法なども検討いただけたらと思う。

## 8 生物多様性について

藤野 正也 部会長（部会長，福島大学農学群食農学類 准教授） > P6, 37

- ・ 森林はSDGsの根本の一つではあるが、本来的なサステナビリティの中心は、経済的持続性と生態系の持続性であり、その根幹の1つが生物多様性である。
- ・ 森林は生物の住む場所ではあり、生物多様性の場所ではあるが、この基本計画を見たときに、生き物の話はほぼ出てこない。これは日本の林業政策の特徴であり、木しか見ていない、木をお金に換える事しか考えてこなかったという背景がある。
- ・ SDGsの根幹である生き物の事についても、この基本計画の中で触れていただく方が本来は良いと思う。むしろ、触れていなければ何をやっているんだ、というのが世界標準レベルである。
- ・ ただ、そこまで一気に入れ込もうとすると、大変な作業になるため、見直し時点ではどこかに項目を入れておいて、5年後改めて計画を作る際に、真ん中に入れていただければと思う。
- ・ 生き物は希少種を守るということではなく、身近な生き物を守るという視点で良い。希少種になる前に普通の生き物のことをきちんと話していくということがSDGsの考え方。

## 9 太陽光発電施設の設置について

藤野 正也 部会長（部会長，福島大学農学群食農学類 准教授） > P23, 38

- ・ ソーラー発電については、県民の関心の高いところであり、森林審議会でも林地開発許可において議論しているため、何かしらの言及が必要なご時世になっているのではないと思う。
- ・ この点は森林審議会の意見も重くなってくると思うし、国の対策も検討されているとのことであるため、中間見直しでそういった意見が入り込むか分からないが、入れる方向で検討された方が良いのではないかと考える。
- ・ 5年後には太陽光パネルが崩れるなど、何かしらの社会的問題が発生した時、何を評価していたんだ、という話になる。
- ・ 許可の条件を決めるのは国ではあるが、それを受動的に待っているだけでは、スタートが遅れてしまうのではないかと考える。
- ・ 今回入れるか入れないかは別として、必ず何かしらの政策を検討いただき、次回の審議会の中で回答いただくのが良いかと思う。
- ・ この意見以外は溶け込みなどで対応できるのではないかと考える。

## 10 その他

水野 暢大 委員（水野水産（株）代表取締役）

- ・ 国際的に輸入品が非常に高くなってきており、また、世界の人口が増加する中で、国内で需要を賄わなくてはならないという状況にある。
- ・ ウッドショックもあったが、全ての物について国内需要を増やすという点についての視点にシフトすることが必要と考える。

木島 明博 委員（東北大学 名誉教授） > 最終案（取組事例）

- ・ 基本計画を見させていただき、非常にわかりやすく全体像が書いてあり、今回の見直しで中心を変えない方針としている理由がよく分かった。
- ・ その上で、現状に合わせてどのように訂正を加えていくのか、どういうふうに書き込んでいくのか、イメージが湧いてこない。
- ・ これは要望であるが、今後、基本計画のどこをどのように変えていくのかわかりやすく表現してもらえればと思う。
- ・ もう1点、水産の基本計画では、水産技術センターの位置付けが明確に為されている。今後、SDGsや各種施策に取り組んでいく中でも、県の持つ試験場の役割は大きくなってくると思う。
- ・ その辺りを組み込むイメージも分かるようにしてもらえれば良いと思う。